

民間活動の活性化に関する研究

分担研究者報告書

分担研究者 園田 恭一

〔リサーチクエスション〕

1. 地域活動（愛育会 母子保健推進員）の活動を活性化するためにはどうしたらよいか。

〔研究目的〕

民間活動や地域活動の活性化に関して、これまでは、健常児や障害児自身やその母親や家族たちは、母子保健とか児童福祉等の施策やサービスの対象者や利用者としてのみ位置づけられ、それらが抱えているニーズや問題などは十分には明らかにされてこなかったが、本研究では、まずそれらの人々が必要としているものや課題から出発して、それらの解決に関わる地域や民間の活動や団体、さらには母親たち自身の仲間づくりやネットワーク形成などの動向を解明することを目的とする。

〔研究方法〕

1) 育児期の若い母親が期待している子育て支援の実態と意向に関しては、東京都K区在住の3才未満の子どもをもつ母親400名を住民基本台帳より二段階無作意で抽出し、配票留め置き法で調査を実施した。

2) 母子保健や子育て支援と関わる既存の組織や団体に関しては岡山県下の市町村で、新たに生まれてきているグループ作りや組織化などについては、神奈川県横浜市および川崎市を中心として、団体や組織などのリストアップと一部の活動の聴き取り調査を通して進めている。

3) 地域で居住している在宅重症心身障害児とその家族のニーズや意向に関しては、神奈川県横浜市で、機録法により調査を進めている。

4) 障害児を育てながら働き続けている母親たちのネットワークづくりの動きについては、3つのグループにコンタクトをとり、設立の経過や現在の活動状況などについての調査を行っている。

〔研究結果〕

1) 育児期の母親にとっての支援源として、手段的支援には家族や親戚が、情動的支援には専門機関が、情緒的支援には育児仲間などがあげられ、また期待もされていた。このように大都市部では育児仲間の役割や育児仲間への期待が極めて強いことが確認でき、民間や地域活動の活性化も、この点が重要なポイントとなると考えられた。

2) 地域での母子保健や子育て支援に係わる活動も、地方都市や町村部においてさえ、従来の保健所や市町村の保健婦や行政担当者の仕事への協力や補助といった役割だけではなく、独自の事業を取りあげての活動や、継続的なボランティア活動への参加など、保健と福祉に跨っての自主的な動きもみられるようになってきている。横浜市や川崎市のような大都市ともなると、育児や介護などにかかわる自主的なグループはさらに拡がりつつある。

3) 在宅重症心身障害児をもつ母親からの調査では、①障害児の生命を一手に背負った24時間の気の抜けない看護や介護の負担と心労、家族は外出も不可能で、連日の睡眠不足から疲労が蓄積している、②必要時に母親の代わりに児をみるサービスが利用できない。緊急一時保護も必要時に利用できない、③福祉サービスの情報も障害児の母親の全てに行き渡っていない、などの実態が明らかとなった。

4) 障害児を育てながら働き続けている母親たちのネットワークづくりの動きのうちの、インターネットという新しいメディアを使い「会員」という形で特定しない対象との間での情報の受信や発信を行なうという形態の活動は、障害児の親であるということや、あるいは障害児を育てながら仕事を続けるとか、続けていきたいと思っていることを対外的に名乗りをあげられない段階でもアクセスでき、そのような人にとっても（そのような人だからこそ）有用な情報源になり、したがってネットワーキングの契機になると思われる。

〔今後の課題〕

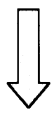
今年度に引き続き、さらにはこれまでの成果を踏まえて、以下の課題を明らかにする。

1) 日常生活の場における育児期の母親たちの、育児や保育をめぐるニーズや意識や取り組みを明らかにする。

2) 健常児や障害児を通しての日常生活場面での現状と課題を明らかにし、民間活動や地域活動との接点を探る。

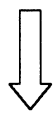
3) 母子保健や子育て支援をめぐる住民や民間の活動をリストアップし、行政施設との役割分担や連携のあり方を明確にする。

4) グループ活動やネットワークづくりの情報伝達や孤立感からの解放などにおける役割を具体的に明らかにする。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔研究目的〕

民間活動や地域活動の活性化に関して、これまでは、健常児や障害児自身やその母親や家族たちは、母子保健とか児童福祉等の施策やサービスの対象者や利用者としてのみ位置づけられ、それらが抱いているニーズや問題などは十分には明らかにされてこなかったが、本研究では、まずそれらの人々が必要としているものや課題から出発して、それらの解決に関わる地域や民間の活動や団体、さらには母親たち自身の仲間づくりやネットワーク形成などの動向を解明することを目的とする。